

一人一人の子どもの命を大切に 通学の安全な体制を求める請願

【請願の要旨】

子どもたちは、安全に安心して近くの学校に通うのが一番です。

南成瀬小学校と南第2小学校が、2025年4月1日「成瀬小学校」に統廃合されました。子ども達が安全に通学するのが、保護者や地域の願いです。伊勢原市等と同様に、町田市でも、必要な所に常時「交通指導員を配置」などして、子ども達の通学の安全を確保することを求めます。

- ①2025年4月1日に、南成瀬小学校と南第2小学校が「成瀬小学校」に統廃合されましたが、国の適正規模12学級とおしの統廃合ですから、そのまま存続すれば、合わせて24学級でした。

統合された「成瀬小学校」は、1年は児童101人(3クラス、1クラス33~34人)、2年85人(3クラス、1クラス28~29人)、3年108人(4クラス、1クラス27人)、4年103人(3クラス、1クラス34~35人)、5年児童104人(3クラス、1クラス34~35人)、6年105人(3クラス、1クラス35人)で、19学級です。

統廃合したことによって、24学級→19学級と5学級減り、全体の6学年のうち4学年で1クラスの人数が、33~35人を中心に増え、全国的に最悪の「統廃合」になっています。

- ②通学の安全確保と保護者の負担そして危ないところ

4月の開校式・入学式から現在まで、折を見て、登校・下校の様子を見ています。週によっては、毎日交差点での横断の様子などを見る時もあります(見守り)。

6月下旬頃から、通学路の変更もあり、分散化されたので、その通学路も確認しました。

4月5月は、登校の時ですが、クリエイトの交差点(正門から300m程)の所は、一番多く「見守り」がいました。中には、自分の小さいお子さんと一緒に、信号を見ながら登校の子どもに声をかけたり、手でストップしている保護者の方がいました。成瀬小の子ども達の動きに注意が集中しているうちに、自分の「小さなお子さん」の手を離さなければよいがと、気がかりでした。手を離せば、小さなお子さんは、車が走っているのに、動き出します。

各保護者にとって大切な子どもですから、保護者や祖父母等と手をつないだりして一緒に登校する子どもも、目について多くなったように感じました。

「やっぱり、子どもは大事なんだな」と「通学の安全」に気を使っている様子に

あらためて新鮮な感じがしました。

西山橋の所は、そこを通って学校へ通うのは危ないと考えようになってか通る子は少なくなりましたので、その分「見守り」も減りました。

成瀬小学校近くの交差点（正門から80m程）、ここでは30年程前に待っていた南成瀬小の子どもが自動車にひかれて亡くなっています。

4月5月は、それぞれの箇所で「見守り」も多かったです。6月下旬頃からは、それぞれの都合や事情もありますから、交差点等によっては、「見守り」が居たり居なかったりの状況になっています。正門の所の横断歩道には、シルバー人材センターの「交通指導員」が常時いて、子ども達の安全を支えています。

伊勢原市等では、「通学の安全」を確保するために、各学校に常時「通学指導員」を配置して、保護者の負担軽減もはかっています。

町田市でも、伊勢原市等と同様に、必要な所に、常時「交通指導員を配置」するなどして、子ども達の通学の安全確保をしてほしいです。

【請願項目】

- ・一人一人の子どもの命を大切に 通学の安全な体制を求めます。